



津波避難タワー見学の様子

在トンガ日本大使が町を訪問

3月5日(火)、在トンガ王国日本国大使館の稲垣久生特命全権大使(以下、稲垣大使)が町を訪問しました。

トンガ王国とは、平成28年に開催された「世界津波の日」高校生サミットin黒潮」や、婦人連合会・小中学校PTA連合会を中心に行われている「ランドセルプロジェクト」などを通じて交流を続けています。

今回の訪問では、松本敏郎町長や婦人連合会との面談を行い、その後は、佐賀地区の津波避難タワーなど、町内の見学をしました。

稲垣大使は、「黒潮町のトンガに対する思いを感じることができた。近以内に起こると言われている南海トラフ地震の対策を着実に進めていて、訓練を行っていくことが大事だと再度感じた」と話しました。



左から畦地和也教育長、松田さん、由比さん、松本町長

上川口地区の児童ら日本バッハコンクール入賞を町へ報告

「第14回日本バッハコンクール」で、上川口地区の松田のどかさんと由比心葉さんが入賞し、2月28日(水)、松本敏郎町長らへ報告しました。同コンクールは、「音楽の原典を学ぶ」をコンセプトに、幼児から大人まで、全国から約7,000人が参加するピアノコンクールです。

松田さんは、幼児A部門の地区大会で優秀賞および奨励賞を受賞し、東京都で開催される全国大会へ出場。由比さんは、小学1・2年A部門の地区大会で最優秀賞を受賞し、全国大会では金賞を受賞しました。

松田さんは、「次は大きなトロフィーがもらえるように頑張る」と話し、由比さんは、「応援してくれたいろんな人に感謝したい。もっと練習を重ねて上手になりたい」と話しました。



受賞した各団体の皆さん

NPO砂浜美術館・大方遊漁船主会・観光ネットワークが「エコツーリズム大賞」

環境省と(一社)エコツーリズム協会が、地域や事業者の優れた取組を表彰する「第19回エコツーリズム大賞」で、NPO砂浜美術館・大方遊漁船主会・(一社)黒潮町観光ネットワークが大賞を受賞しました。

地域ガイドによる解説や、学術機関などと連携した調査研究を行っているホエールウォッチング、また自然の「恵み」と「災害」の二面性に向き合う防災ツーリズムなど、地域が主体となったエコツーリズムの推進と地域づくり、来訪者への高付加価値な体験の提供に連携して取り組んでいることが高く評価されました。

NPO砂浜美術館の村上健太郎理事長は、「今回の受賞をきっかけに地域内のつながりをさらに深め、可能性を広げていきたい」と話しました。



植樹の様子

林間学校で植樹体験

幡東森林組合主催「第35回林間学校」が2月16日(金)、入野松原で開催され、南郷小学校6年生と上川口小学校5、6年生の児童19名が植樹体験をしました。同取組は、子どもたちに林業に興味を持ち、関わってもらうことを目的に行われています。

今回植樹したのは、高知県森と緑の会から緑の募金の助成をいただいた400本と森林組合が購入した100本、計500本のクロマツの苗木。児童らは、スコップで穴を掘った場所に苗木を植え、土をかぶせる作業を行いました。

作業をした子どもたちは、「植えるのが難しかった」、「今回植えた松がしっかり成長して、将来町を守ってほしい」などと話しました。